

2019年1月24日
株式会社 JR 東日本ネットステーション
株式会社ブレインパッド

JR 東日本の列車遅延情報などを自動で Twitter 配信 — クラウド型 RPA を活用し人手では実現困難なタイムリーな情報収集と投稿作業を完全自動化 —

株式会社 JR 東日本ネットステーション（本社：東京都渋谷区／代表取締役社長：山本敬津）と株式会社ブレインパッド（本社：東京都港区／代表取締役社長：佐藤清之輔）は、東日本旅客鉄道株式会社（以下「JR 東日本」）の新幹線、特急列車等の運行情報を、RPA（*）を活用して Twitter で自動配信する仕組みを構築したことを発表いたします。

これにより、列車遅延等の情報が配信されてから数分後には JR 東日本の公式 Twitter に自動投稿され、より多くのお客さまへタイムリーに運行情報を伝えることが可能となりました。

この仕組みは 2018 年 12 月 27 日より運用開始しており、JR 東日本からも発表されております。

（*）RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）とは、ソフトウェアロボットによる、主にホワイトカラー業務の効率化・自動化の取り組みのこと。

●2018年12月26日 JR 東日本発表

列車運行情報の Twitter 配信を始めます <https://www.jreast.co.jp/press/2018/20181224.pdf>

●JR 東日本【新幹線】運行情報（公式）Twitter https://twitter.com/JRE_Super_Exp

●JR 東日本【在来線特急等】運行情報（公式）Twitter https://twitter.com/JRE_Lim_Exp_etc



The screenshot shows the Twitter profile for 'JR東日本【新幹線】運行情報 (公式)' (@JRE_Super_Exp). The profile bio states that it provides real-time information on Shinkansen delays. Two tweets are visible: one from 1/11/16:05 reporting a delay on the Tohoku Shinkansen, and another from 1/11/13:32 reporting a delay on the Tohoku Shinkansen due to noise at the Maebashi station.

RPAを活用してタイムリーに自動投稿されているJR東日本の運行情報公式Twitter



■より多くのお客さまに列車の運行情報を正確かつタイムリーに提供したい

JR 東日本ネットステーションは、JR 東日本ポータルサイト「えきねっと」の企画・運営をはじめ、ウェブサイト制作や ICT 技術を活用した総合サービスを提供しております。JR 東日本ネットステーションは、「列車の運行情報を正確かつタイムリーに、そしてより多くのお客さまに提供するため、Twitter を活用した情報提供を行う」という JR 東日本の課題をふまえ、効率的な Twitter への配信方法を検討していました。しかし、列車遅延等はいつ発生するか予測がつかず、その時間帯も早朝 4 時から翌深夜 2 時までとほぼ 24 時間 365 日にわたるため、人手による Twitter 配信は現実的でない一方で、大がかりなシステムの開発と運用には多くの時間とコストがかかってしまいます。そこで JR 東日本ネットステーションは、より短納期かつコスト効率の良い仕組みづくりを目指し、RPA 活用に豊富なノウハウを有するブレインパッドとともに、RPA ツール「ブレインロボ (BrainRobo)」の導入に至りました。

■クラウド型 RPA の活用により大がかりな設備投資や準備作業は不要、スピーディにサービスを開始

今回構築した仕組みには、ほぼ 24 時間 365 日にわたり稼働できる安定性・確実性が必須である一方で、JR 東日本グループのセキュリティ対策基準を満たすことや、サービス開始までのスピード感も求められていました。

ブレインパッドは、これらの条件を満たすために、サーバー等の設備投資が不要なクラウド型での RPA 導入を提案するとともに、仕様決定や動作検証をスピーディに行うだけでなく、厳しいセキュリティ対策基準を満たすための関係各所との連絡・調整にも協力しました。これにより、年末年始の繁忙期に合わせたサービス開始を実現しました。

今回の RPA を活用した JR 東日本列車運行情報の Twitter 配信は、その他の路線にも提供範囲を拡大していく予定です。また、JR 東日本ネットステーションは、ブレインパッドの協力のもと、RPA 運用を内製化できる体制づくりも進めてまいります。

■ご参考情報

●「ブレインロボ (BrainRobo)」について <https://rpa.brainpad.co.jp/>

「ブレインロボ (BrainRobo)」は、人が PC 上で行う作業を自動化するソリューションです。データ入力などの定型業務やウェブサイト情報の収集・調査といった、人が行っていた作業をノンコーディングで自動化・効率化する RPA (ロボティック・プロセス・オートメーション) に、ブレインパッドの AI や機械学習技術などを付加することで、人が判断しなければならない高度な業務の効率化も可能にしたものです。これまでの RPA ではできなかった画像や自然言語などを対象としたサービス開発を容易にします。

●株式会社ブレインパッドについて <http://www.brainpad.co.jp/>

(東京証券取引所 市場第一部：証券コード 3655)

本社所在地：東京都港区白金台 3-2-10 白金台ビル

設立：2004 年 3 月

代表者：代表取締役社長 佐藤 清之輔

資本金：332 百万円 (2018 年 9 月 30 日現在)

従業員数：267 名 (連結、2018 年 9 月 30 日現在)

事業内容：企業の経営改善を支援するビッグデータ活用サービス、デジタルマーケティングサービス